

後援会会報

第 27 号

令和 8 年 3 月 6 日

福井県立福井特別支援学校後援会



ごあいさつ

福井特別支援学校後援会会長 有田 紀子

会員の皆様には、日頃より後援会の活動にご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

後援会は、児童生徒一人一人の卒業後の自立に向けて在学中から専門的支援を行うことにより、卒業後の子どもたちがより一層充実した生活を送ることを目的に作られました。皆様からの温かいご支援のおかげで、本校ならではの教材、教具が子どもたちをよく知る先生方によって作られています。在学中より卒業にむけて一人一人に寄り添った支援を行い、引き続き卒業後も応援しております。また、学校行事に卒業生を招待し、在校生との交流や卒業生同士の交流の場（これは卒業後に途切れがちになる大切な情報交換の場）となっております。子どもたちが安心安全に過ごせるよう、子どもたちの笑顔あふれる未来に向けて、皆様とともに寄り添い、支援し合える後援会でありたいと思います。今後ともご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。

後援会・・・児童生徒の自立に向けての支援を目的に

主な事業

教材・教具の充実

教員が手作り教材の製作を行っています。子ども一人一人の実態に合わせた教材を工夫し、作成しています。



卒業生への学校祭のご案内

卒業生へ体育大会の案内をしました。在校生との交流や卒業生同士の交流、情報交換の場となっております。

教員の専門性を高める研修

外部講師をお招きして「ラーニングマップ」の研修などを行いました。

進路先訪問

就労先の訪問などを通して卒業後も応援しています。

在校生進路指導

「卒業生と語る会」など、卒業に向けての準備をしています。今年度は卒業生とオンラインでつながり、貴重なお話を聞かせていただきました。

卒業生の声

令和 2 年度卒業生 野川 莉央

学校での一番の思い出は、行事ごとに実行委員会に入って準備を頑張ったり、普段関わりの少ない他学部の子たちとみんなで参加したりしたことです。

卒業後はトヨタカローラ福井に勤めています。主にデータ入力や書類整理、電話応対、来客対応、時期によっては新入社員や人事異動の準備も行っていきます。

これからの目標は友達と県外に遊びに行ったり、自分のやりたいことにも時間を使えたりできるよう行動の幅を広げていくことです。

卒業生への支援

～10月17日、18日福養祭、体育大会より～

今年度は卒業生に体育大会の案内をしました。学校祭の様子を紹介します。

1日目福養祭は、体育館やプレイルーム、教室を会場に工夫を凝らした8つの出店がありお店の人もお客さんもみんなの笑顔が溢れる楽しい模擬店となりました。2日目体育大会は、たくさんの保護者や児童生徒の声援を受けながら紅白に分かれて白熱した競技を行いました。各学部どれも趣向を凝らした種目でした。全員参加の玉入れや、最後のリレーも大変盛り上がりました。卒業生は競技を見ながら楽しく歓談しました。短時間ではありましたが、卒業生と在校生の交流ができました。終わった後も在校生や教員が卒業生の周りに集まり、近況を話すなど仲のよい様子がみられました。



在校生への支援

教材・教具作成の材料費等を活用しています。一部ですが教材や教具を紹介します。

☆見て聴いてわかる『光と音のパトランプスイッチ』☆

体育のリレーゲームのバトン代わりにスイッチです。「タッチ！」の声とパトランプの光で、次の子とのバトンタッチを知らせます。体育大会では、ビックマックススイッチに接続して、子供たちもわかりやすく、スイッチを押したり、スタートしたりしていました。クラスの光遊びでは好きな音楽を入れたり、暗い部屋でスイッチを押してきらきら光るパトランプに夢中でした！



今年度も多数の方に後援会に加入していただき、誠にありがとうございました。皆様のお力添えのおかげで、卒業生を含めた児童生徒がつながり合い、そして支え合う力となっております。

今後とも、より一層のご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。